（別紙５）

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	児童デイサービスフューチャー芦屋　　（児童発達支援）

公表日　2026 年 2 月 20日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	0	利用人数や状況に合わせ確保できている。	人数や状況でその都度部屋を分けたり区切って 使用している。今後も続ける。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	0	活動に合わせ人員を増員している。	子どもの特性も考慮しながら、人員の配置をする。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	0	使用する部屋を分けるときや、階段を利用する 時は必ず職員が付き添うようにする。	怪我・事故のないように注意をはらう。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	0	清掃・消毒は業務前後に行っている。 必要に応じて部屋を分けて使用している。	清潔・安全・安心を心がける。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか 。	5	0	以前から別室を使用している。	以前から別室を使用している。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	0	業務内容や日々の振り返り、明日の連絡事項等日々連絡している。	情報を共有し、討議・振り返りを実践する。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	アンケートや・個人面談等の実地	いろいろな意見を真摯に受け止め、迅速に対応・改善に努める。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	日々の業務連絡時に意見交換等設けている。	今後も続けていく。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	0	芦屋の施設との交流を通じて、意見の交換等実地している。	意見を踏まえて支援内容を高めていきたい。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3	2	時間等諸事情で外部研修の参加は厳しい。	参加できるよう努めたい。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか 。	5	0	支援会議等で意見を出し合い作成し、 公表している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5	0	保護者・本人の気持ち・支援員からの意見をふまえて、作成している。	適切にアセスメントを行い、ニーズに合った計画を作成する。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0	支援会議等で意見を出し合い子どもの個々のニーズに合った計画を作成している。	管理責任者一人の意見に凝り固まらないよう作成する。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0	行っている。	日々振り返り意見を出し合う。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	0	日々の状況や・問題点など確認しあい連絡している。	子どもの状態・変化などその都度、共有・連絡 に努める。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0	適切に選択し内容を考えている。	意見を出し合い、その都度変更・対応を考慮し改善に努めていく。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0	職員間で相談し決めている。	今後も相談しあう。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0	月ごとに考えている。	職員間で相談しあう。

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5	0	特性や発達状況に合わせ、作成し支援している	保護者や学校・関係機関からも情報共有し偏った計画にならないようにする。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0	送迎の確認、連絡事項の伝達を必ず実施している。	続けて実施していく。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い､気付いた点等を共有しているか。	5	0	日々就業後にSNS等で連絡している。	続けて実施していく。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0	業務日誌・連絡ノートを職員が目をとしている	続けて実施していく。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0	６か月ごとの見直しを実施している。	必要に応じて、見直し作成している。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0	相談支援事業所の担当者と連携をとっている。	引き続き連携していく。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	0	学校や、相談支援事業所、他事業所と情報を共有し、支援を行っている。	引き続き連携していく。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	0	学校や他事業所と情報を共有し、支援を行っている。	引き続き連携していく。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	0	学校や他事業所と情報を共有し、支援を行っている。	引き続き連携していく。
	28	（28～30は、センターのみ回答） 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	（31は、事業所のみ回答） 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	0	5	していない。	設ける努力をする。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	0	5	していない。	機械をつくれるように努める。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0	送迎時、連絡ノートにて日々の様子を伝えている。	引き続き実施する。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	0	必要な保護者には対応や改善の助言をしている	引き続き実施する。
保	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0	契約時に説明している。	丁寧に説明するよう心掛ける。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか 。	5	0	保護者の気持ちを尊重し、子どもに合った支援計画を作成し保護者に確認をとっている。	引き続き実施する。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5	0	得ている。	丁寧に説明し共有してもらう。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0	送迎時、連絡ノートにて日々の様子を伝えている。	状況の変化に合わせてその都度相談・助言する。

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	5	開催していない。	設ける努力する。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0	迅速に応じている。	引き続き実施する。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	0	毎月のお知らせや必要に応じて情報を伝えている。	引き続き実施する。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0	情報は厳重に保管している。	流出しないように注意する。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0	個々に対応を変更し、配慮している。	今後も配慮する。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	0	イベントによっては、地域の方に参加してもらい交流している。	定期的に実施する。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0	年に一度行っている。	今後も続けていく。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0	年に一度行っている。	今後も続けていく。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	0	服薬・てんかん時の対応など確認している。	情報・確認を徹底する。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	0	契約時に必ず確認している。	情報・確認を徹底する。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0	日々点検している。	今後も続けていく。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	0	5		早急に周知するよう努める。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0	職員間で回覧し個々で気を付けるように促す。	些細な事でも情報を共有し、安全・安心な居場所つくりを心がける。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0	研修内容を共有している。	子どもたちにとって過ごしやすい環境を提供する。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	0	5	身体拘束は行わない。	身体拘束は行わない。